

東京都造園緑化業協会の概要

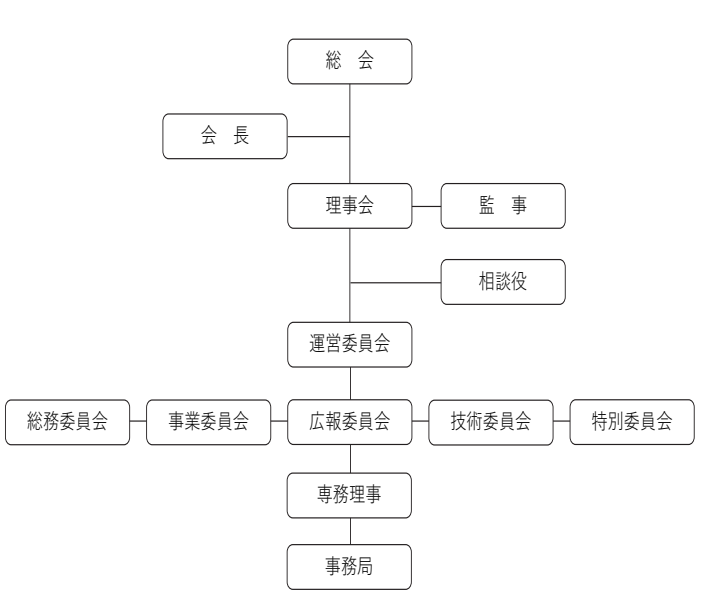
沿革

昭和 50 年 5 月	任意団体として東京都造園緑化業協会が発足。 事務所を渋谷区神南 1 - 20 - 11 造園会館に置く。 会員数 正会員 125 社・会友 5 社・賛助会員 1 社 会長 元東京都副知事 太田和男氏
昭和 52 年 4 月	社団法人東京都造園緑化業協会として設立認可される
昭和 63 年 6 月	会長 元東京都副知事 三木興志夫 氏 就任
平成 6 年 10 月	定款変更 事業に「造園緑化に関する調査等の受託」を追加
平成 6 年 11 月	会長 元東京都副知事 横田政次 氏 就任
平成 14 年 4 月	定款改正 公益法人制度変更に伴う体制等の改正
平成 16 年 7 月	横田会長の逝去に伴い、会長代行に前田宗正氏が就任
平成 16 年 11 月	会長 元東京都副知事 貫洞哲夫 氏 就任
平成 19 年 8 月	海の森剪定枝葉堆肥化事業「海の森みどりの資源化センター」稼働
平成 23 年 6 月	一般社団法人となる。会長 貫洞哲夫氏 理事長 菊地謙二氏
平成 27 年 5 月	定款改正 事業に「造園関連団体事務局事務」を追加、 入会資格の取得、報酬規程の変更
平成 28 年 12 月	会長 貫洞哲夫 氏 退任
平成 29 年 5 月末	「海の森みどりの資源化センター」施設廃止
平成 29 年 6 月	理事長 卯之原 昇 氏 就任
令和 4 年 4 月	会長 元東京都技監 村尾公一氏 就任
令和 6 年 6 月	理事長 大場 淳一 氏 就任

会員

千代田区	日産緑化(株) (株)富士植木	大田区	(株)錦花園 (株)第一造園 藤東造園建設(株)	荒川区	岩田造園土木(株) 総合造園(株) 北部緑地(株)	青梅市	(株)東山園 (株)キャピタルグリーン (株)玉川造園
中央区	イビデングリーンテック(株)		(株)石勝エクステリア (株)岩城 (株)小川植木	板橋区	(株)池田園 (株)杉山造園建設	府中市	(株)東京緑化 (株)府中植木 (株)宮光園
港区	(株)ケイミックス (株)日比谷アメニス	世田谷区	第一緑興(株) (株)野沢園 (株)蛭田植物園 緑進造園(株)	練馬区	アゴラ造園(株) (株)植物環境リサーチ (株)西部緑化 (株)豊和緑地	昭島市	(株)指田園 (株)小牧造園
新宿区	武蔵野造園土木(株) 木原造林(株)		朝日造園(株) 加勢造園(株) 東光園緑化(株)	足立区	大洋造園土木(株) (株)富士造園 (株)前島植物園 東京支店	調布市	(株)深光園 (株)富沢造園
文京区	浅川造園土木(株) 音羽建物(株)	渋谷区	(株)飛鳥 (株)大澤造園土木 住友林業緑化(株)	葛飾区	(株)桂造園 東洋グリーン産業(株)	町田市	(有)アグリゲイトガーデン (株)東京総合造園
台東区	東友緑化(株) (株)理研グリーン	中野区	(株)創研ガーデン (株)大場造園 (株)昭和造園 (株)常緑苑	江戸川区	(株)アーバンエクステリア (株)アメニティ (株)稲亀緑花 (株)植三造園 (株)伍楽園 (株)大國屋園藝場 (株)みつき	小平市	(株)東京緑花 (株)百草造園
墨田区	京成バラ園芸(株) (株)増田造園 (株)柳島寿々喜園		(株)昭和造園 (株)常緑苑 種屋造園興業(株)		(株)東緑化 (株)多摩緑化 東新緑地(株)	日野市	(株)百草造園 (有)光緑園
江東区	天龍造園建設(株)東京支店 (株)ノザワ (株)みどり造園 (有)みらい造園 (株)森岡 (株)ランデック	杉並区	箱根植木(株) (株)勇和造園 西武造園(株) (株)武蔵野種苗園		(株)東緑化 (株)多摩緑化 東新緑地(株) 文吾林造園(株) 東京本社	東村山市	(有)光緑園 鈴木造園(株)
品川区	東急グリーンシステム(株) 西村造園土木(株) 日本パブリックサービス(株)	豊島区				東久留米市	(株)根本造園 松村園芸(株)
目黒区	(株)オーシャン (株)西花園					多摩市	(株)多摩ニュータウンサービス (株)檜原
大田区	大森造園建設(株)					羽村市	(株)大進緑建

組織



緑あふれる美しい 東京のまちづくりに貢献します

協会のご案内

Please look at this
Association Information
Tokyo Metropolitan Landscape Association (TMLA)

一般社団法人 東京都造園緑化業協会

ごあいさつ

一般社団法人東京都造園緑化業協会は、東京の都市環境における緑の重要性を深く認識し、都市緑化の普及啓発、造園緑化に関する技術の向上をはじめ、首都東京の緑の保全及び緑化の推進に寄与し、公益的な活動することを目的として設立された一般社団法人です。

昭和 50 年の設立以来、首都東京が大きく変貌する中で、伝統的な造園技術のみならず、あらゆる都市空間の緑化保全技術を礎に、東京の緑豊かなまちづくりに貢献しています。

引き続き、私たちは、現場を知り尽くした造園業の力をいかに発揮し、緑豊かな首都東京の創造に向け努力してまいります。

東京都造園緑化業協会の事業

1. 都市緑化意識の普及啓発

都立農業高校生インターンシップ

東京都には、造園関連学科を持つ農業高校が5校あります。当協会では、各学校と協定を結び、進路選択に役立てていただくため、インターンシップ事業を行い、希望する生徒を会員企業が受け入れ、数日間にわたる就業体験（インターンシップ）を実施しています。



2 造園緑化技術向上のための研修会、講習会

一般都民向け剪定研修会



都民の方々に広く緑に親しみ、庭木など木々の手入れについて学んでいただくため、毎年剪定講習会を開催しています。剪定の基礎から実際の剪定技術に至るまで、楽しんで受講していただいています。

また、会員向けには、造園のプロとして技能、技術及び労働安全意識の向上を図るため、各種研修会を開催しています。

造園植物材料研修会



暑い日が多くなるなど、さまざまな環境の変化に対応し、植物材料も新たに開発されています。最新の情報を得、それぞれの技術や知識の交換を図っています。

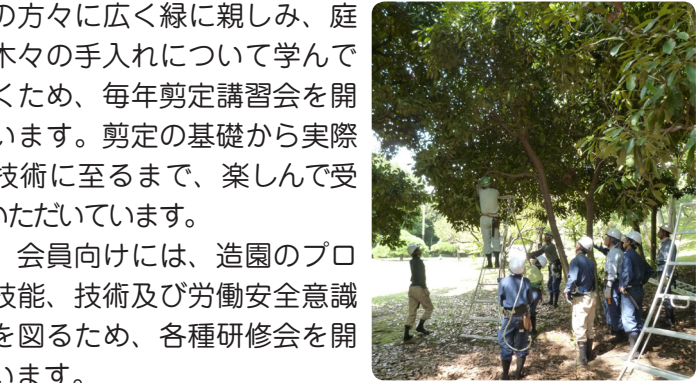


近年は、造園関連学科以外からも環境・防災・エコ・生きもの（生態系）・人々が触れ合う場所で働きたいという若者も多くなってきました。

造園の領域も広がりを見せ、従来の公園や道路（街路樹）だけではなく、自然を取り巻くありとあらゆる環境が仕事の場であり、街づくりの中心を担う職種ともいえます。

今後もインターンシップ事業を通して若者の就業機会を創出、支援し、緑のスペシャリストを育成してまいります。

会員向け樹木剪定研修会



造園業務安全講習会



安全は、第三者をはじめ、作業員自身も最優先事項です。このため、法令や事故事例、精神・身体など人の行動科学も踏まえた講習会などを実施しています。

3. 行政への協力、提言

東京都防災訓練への参加

東京都造園緑化業協会は、災害時における民間協力の一環として、東京都知事と災害協定を締結しており、都立公園の公園施設が被災した際、被災箇所の応急対応に協力します。

要望活動



東京都や都議会をはじめ、関係機関へ要望活動を行い、東京都の緑について必要な提言を行っています。

また、関東造園関連団体と定期的に意見・情報交換を行い、最新の緑化事情について情報収集しています。

4. 図書の発行

東京と緑

会報として年3回発行している「東京と緑」は、会員をはじめ、関係団体に当協会の活動のほか、緑に関する情報を幅広く提供しています。

東京都緑化白書は、都内行政機関の緑化関連予算や施策などを緑化の動向としてまとめ、特集では時代に即したテーマに基づいた調査などをまとめています。

5. 調査・研究など

造園緑化に関する調査研究は、①海の森の緑化に関する調査研究（H26～28）、②剪定枝葉堆肥化等のみどりの資源化に関する調査研究、③日比谷公園首賭けイチョウの剪定等に関する調査研究（H28～現在）などを実施しています。

海の森では、埋め立て地の土壌改良に剪定枝葉を利用するたい肥化事業を都との協定により実施し、現在の豊かな緑の基盤となっています。



日比谷公園ガーデニングショーなど社会貢献事業への協力



行政等が実施する緑化啓発のイベントに積極的に参加し、都市緑化の推進に寄与しています。

中でも「日比谷公園ガーデニングショー」では、実行委員会への参加、モニュメント（竹飾り）の出品、造園マーケットの開催、剪定枝葉堆肥の配付等を行っています。

緑化白書

会報として年3回発行している「東京と緑」は、会員をはじめ、関係団体に当協会の活動のほか、緑に関する情報を幅広く提供しています。

東京都緑化白書は、都内行政機関の緑化関連予算や施策などを緑化の動向としてまとめ、特集では時代に即したテーマに基づいた調査などをまとめています。

